

【2019年9月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が24冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『おひとりさまvs.ひとりの哲学』	山折哲雄、上野千鶴子著	朝日新聞出版	2018年	114.2ヤ オレンジ	死にゆく人はさみしいか？ 死んだらどこへ行くのか？ 歩いて墓場へ行けない死者にとって、最期に自分を託せるのは誰か？ 宗教学者と社会学者による日本人の死に方をめぐる対談。
『自分の「怒り」タイプを知ってコントロールする はじめての「アンガーマネジメント」 実践ブック』	安藤俊介著	ディスカヴァー・ トゥエンティワン	2016年	141.6ア オレンジ	怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニングであるアンガーマネジメント。6つの怒りタイプ別に、性格の特徴、怒り方の癖・改善トレーニング方法、上手なつきあい方を提示する。
『メディア文化とジェンダーの政治学 —第三波フェミニズムの視点から』	田中東子著	世界思想社	2012年	361.4タ アカ	ポストフェミニズムと呼ばれる社会状況に生きる現在の女性たち。その生のあり方を、メディア文化論やカルチュラル・スタディーズの視点から観察し、フェミニズムの現代的な意義と必要性について検討する。
『L I F E CAREER(ライフ・キャリア) 人生100年時代の私らしい働き方』	渡部昌平編著	金子書房	2019年	366.2ワ ミズイロ	人生100年時代に、何を指針として仕事や人生を(再)選択・設計していけばよいのか、どんな支援があり得るのか。それぞれの専門家からの実践を踏まえた提言。
『ハラスメント —職場を破壊するもの—』	君嶋護男著	労働法令	2019年	366.3キ ミズイロ	セクハラ、マタハラ、パワハラの3つに関して、職場におけるハラスメントの現状と対応、裁判例から見たハラスメントの状況を取り上げる。
『ハラスメントの境界線 セクハラ・パワハラに戸惑う男たち』	白河桃子著	中央公論新社	2019年	366.3シ ミズイロ	人権問題であり、職場の生産性、リスクマネジメント、人材獲得に関わる重大問題であるハラスメントへの認識や対応をアップデートするために知っておきたい最新事情。
『上司の「いじり」が許せない』	中野円佳著	講談社	2018年	366.3ナ ミズイロ	人を傷つけ、メンタルを悪化させ、死にも追いやることがある「いじり」とは？ 職場において、いじられる側が傷つくようないじりがはびこっている実態、構造に迫る。
『女性学・男性学[第3版] —ジェンダー論入門』	伊藤公雄、樹村みのり、 國信潤子著	有斐閣	2019年	367.1イ ミドリ	ストーリー・マンガやワークショップ型のエクササイズを取り入れ、ジェンダーを身近な問題として考えられるようにわかりやすく解説した入門書。
『私たちの「戦う姫、働く少女」』	ジェンダーと労働研究会編 河野真太郎、田中東子、 中村香住、他著	堀之内出版	2019年	367.1シ ミドリ	河野真太郎氏の著作『戦う姫、働く少女』に触発されたシンポジウム「ポストフェミニズムと〈私たち〉の労働」の記録。メイドカフェ、家長制といったキーワードを解説するミニコラムも収録。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『「男の子の育て方」を真剣に考えてたら夫とのセックスが週3回になりました』	田房永子著	大和書房	2019年	367.1タミドリ	母親による子供への男女差別は、男を甘やかす社会と母親たちの野放し感に密接に関係しているのでは…。そう思っていた著者が、男の子を妊娠・出産し、自身の男性観と向き合うことになった日々を綴る。
『未来を切り拓く 女性たちのNPO活動 一日米の実践から考える』	金谷千慧子、柏木宏著	明石書店	2019年	367.2カミドリ	日本とアメリカのNPOを通じた女性の活動を振り返り、成果と課題を整理し、女性の権利拡張と社会参加をどう進めていけばよいのか、NPOをキーワードに考える。
『東京貧困女子。彼女たちはなぜ躓いたのか』	中村淳彦著	東洋経済新報社	2019年	367.2ナミドリ	東京とその近郊に暮らす単身女性とシングルマザーの貧困問題を考えるために、個人の物語に焦点を当て、問題解決への糸口を探す取材記録。
『無頼化した女たち』	水無田気流著	亜紀書房	2014年	367.2ミミドリ	女性の無頼化現象と安定志向・保守化傾向など、女性を取り巻く社会文化現象は複雑な様相を呈している。その原因を読み解き、昨今の文化状況の深層を解析する。
『平成家族 理想と現実の狭間で揺れる人たち』	朝日新聞取材班著	朝日新聞出版	2019年	367.3アキヨ	「単身社会」「食」「働き方」「産む」「ポスト平成」をテーマに、家族をめぐるモヤモヤを抱えた人たち一人ひとりの思いを伝える。
『夫の扶養からぬげだしたい』	ゆむい著	KADOKAWA	2019年	367.3ユミドリ	出産・育児を機に漫画家になる夢を諦めた専業主婦のももこ。収入がないことに引け目を感じ、夫の心ない言葉や非協力的な態度に、扶養から抜け出すことを決意する…。
『“結婚”をやめたパリエンヌたち』	酒巻洋子著	産業編集センター	2019年	367.4サキヨ	独身のみならず、カップルの形態もさまざまで、結婚したとしても離婚はほとんど当たり前。さらに再婚者、再再婚者も…。多様化にかけては先を行く、パリエンヌたちの生きる姿勢。
『わたしは女の子だから 世界を変える夢をあきらめない子どもたち』	ローズマリー・マカーニー、ジェン・オールバー、他文 西田佳子訳	西村書店	2019年	367.6ロギン	貧困、紛争、性差別一。幼いうちから困難な状況に置かれつつも、希望を胸に、自分の住む世界を変えようと世界のさまざまな場所で努力する8人の女の子たち。
『親を棄てる子どもたち 新しい「姨捨山」のかたちを求めて』	大山真人著	平凡社	2019年	367.7オピンク	実の子が親を棄てていく現状やその原因を取り上げ、子に棄てられる今を生き抜くために、高齢者同士が集住し、助け合いながら生きる持続可能な相互扶助システムの必要性を呼びかける。
『ある日、突然始まる 後悔しないための介護ハンドブック』	阿久津美栄子著	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2017年	369.2アピンク	介護に必要なお金とサービス、介護で倒れてしまわないための心得など、介護の始まりから終わりまでに必要な一連の情報・知識を、わかりやすくまとめた1冊。
『家族はなぜ介護してしまうのか ー認知症の社会学』	木下衆著	世界思想社	2019年	369.2キピンク	認知症患者の家族介護について、具体的な事例をもとに、家族介護はなぜ大変なのか、現状で何が問題なのかということ、社会学の立場から分析する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『現場報告 “子ども食堂” これまで、これから』	与野輝、茅野志穂著	いのちのことば社	2019年	369.4ヨ ピンク	お客さん第一を貫き通してきた「あいさん子ども食堂」。ボランティア運営の子供食堂だからこそできる、利用者を中心として考えた、子供たちと子育て家庭応援の在り方を伝える。
『みんなに必要な新しい仕事 東大卒25歳、無職のシングルマザー、 マドレボニータを創業する』	吉岡マコ著	小学館	2015年	495.8ヨ オレンジ	子育ての導入期という最も不安定な時期にある産後女性の心と体の健康をサポートするNPO法人を設立した著者が、自らの半生と社会起業のあゆみを語る。
『歴史を変えた50人の女性アスリートたち』	レイチェル・ イグノトフスキー著 野中モモ訳	創元社	2019年	780.2レ チャイロ	女性を締め出していた近代スポーツ界に飛び込み、圧倒的な能力と粘り強さで記録と歴史を塗り替えてきた女性たち。「やってみたい！」を実現したエネルギーに満ちた人生をイラストで紹介する。
『「ジェンダー」で読む物語 —赤ずきんから桜庭一樹まで』	高岡尚子編著	かがわ出版	2019年	902タ チャイロ	奈良女子大学「ジェンダー—言語文化学演習」の受講学生が、どのように物語に取り組み、ジェンダーに関わる読み方を提案していったかを、ジェンダーや物語の基本的な定義や説明とともにたどる。